

年 組 () 名前

サイン



カワウソよちよち

横浜市金沢区の水族館「横浜・八景島シーパラダイス」で、昨年10月に誕生したコツメカワウソの赤ちゃん5匹が報道陣に公開された＝写真、須藤菜々子撮影＝。一般公開は15日から。

赤ちゃんはオス3匹とメス2匹。誕生時に70gほどだった体重は500～700gにまで増え、体長も約20cmに成長した。展示場内をよちよち歩きし、じゃれ合って遊ぶなど愛らしい様子を見せていた。

(2022年1月14日 読売新聞夕刊より)

よこはま すいぞくかん どうぶつ あか ひろめ ◆横浜の水族館で、かわいらしい動物の赤ちゃんがお披露目されました。

せんせい ひと ※先生やおうちの人と いっしょに読みましょう。

【1】写真に写っている動物はなんですか。

--	--	--	--	--	--	--	--

【2】生まれた赤ちゃんのうち、オスはなん匹ですか。メスはなん匹ですか。

オス	匹
メス	匹

【3】5匹の赤ちゃんに名前をつけましょう。

【発展問題】カワウソについて調べ、わかったことを裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

シャウエッセン

ふくろ しぼ

袋縛りません

わり さく げん

プラ3 削減減

日本ハムは2月から、主力のソーセージ「シャウエッセン」の包装について、巾着のような形状をやめる。テープで縛るために余裕を持たせていた袋の上部を見直し、4月までに長方形の袋へ切り替える方針だ。プラスチック量を重量ベースで約3削減できるといい、環境負荷の軽減を図る。

日本ハムは1985年の発売当時、売り場で目立つようにシャ



ウエッセンの包装を巾着型にした。「プレゼントのような見た目でも華やかさが出る」などの理由から、業界の定番になっている。

脱プラスチックの機運が世界的に高まっており、「グランドアルトバイエルン」を販売している伊藤ハムや「燻製屋」を扱う丸大食品でも現在、同様の見直しを検討しているという。

包装を見直したシャウエッセン（左）。従来品よりプラスチック使用量を約3削減できる（日本ハム提供）

◆「巾着」のような袋に入って売り場に並んでいるソーセージ。この包装の形が、変わることになりました。

(2022年1月15日 読売新聞朝刊より)

【1】日本ハムは今までなぜ、「シャウエッセン」の包装を巾着型のデザインにしていたのでしょうか。後ろに「から」が続くように15字以上20字以内で抜き出しましょう。

から

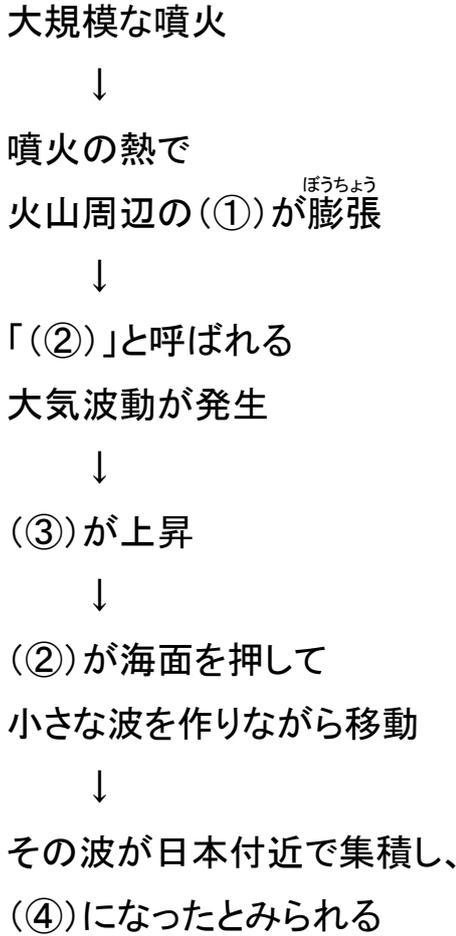
【2】なぜ、巾着型のデザインをやめることにしたのか、理由を書きましょう。

【発展問題】ソーセージの作り方を調べ、裏に書きましょう。また、ソーセージ以外の加工肉も調べ、その違いをまとめましょう。

年 組 () 名前

サイン

【1】「大気波動」が津波を起こす仕組みについて、()に入る言葉をそれぞれ書きましょう。



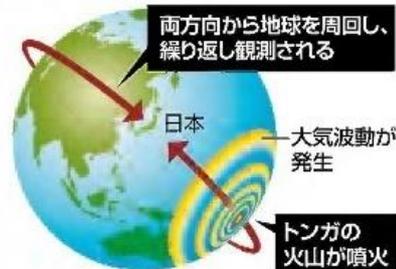
①	
②	
③	
④	

南太平洋の島国トンガで15日に発生した大規模噴火で、地球を周回する特殊な強い空気の振動「大気波動」が観測されていたことが東京大地震研究所の調査でわかった。火山噴火での確認は、近代的な観測が始まった1980年代以降では初めて。気圧を上昇させ、津波を生じさせた可能性があるとみられる。

この大気波動は「ラム波」と呼ばれ、噴火の熱で火山周辺の空気が膨張したことにより発生したとみられる。音速より少し遅い秒速約310mで進み、減衰しにくく遠くまで届くのが特徴だ。噴火の規模が大きい場合に生じることがあり、過去には1883年のインドネシア・クラカタウ火山噴火でも発生したとみられている。

トンガの噴火後、同研究所の西田 究准教授が世界各地にある約500か所の微気圧計の観測データを分析したところ、ラム波が地球を周回していたことが判明。火山から同心円状に広がっており、約1日半で地球を1周し、反対方向からやってきたものも含めて繰り返し観測されていた。

大気波動が地球を周回するイメージ
噴火は日本時間15日午後1時頃に発生。日本では同日午後7〜9時頃、各地で2〜3程度の気圧上昇が観測された。気圧上昇はラ



トンガ「大気波動」観測

噴火熱で発生 地球周回

◆トンガの火山噴火による津波について、日本の気象庁が出した津波予報が大きく外れてしまいました。これまで例を見ない仕組みで起きた津波だったからのようです。

(2022年1月24日 読売新聞朝刊より)

【2】記事では、【1】②が約1日半で地球を1周したとあります。約1日半を仮に36時間とすると、地球1周の距離は約何万キロメートルでしょうか。

約 万キロメートル

【発展問題】日本近海の海底火山について調べ、裏に書きましょう。

サイン

年 組 () 名前

◆捨^すてられる作物を活用し、新たな商品を作る「アップサイクル」という取り組みが広がっているようです。

アップサイクル

捨てられる作物を幅広く活用し、新たな商品を作る「アップサイクル」と呼ばれる取り組みが広がっている。サトウキビの搾りかすを素材にしたデニム、バナナの皮を煮詰めたジャムなど様々で、環境に配慮した新しいブランドとして、消費者の関心も高まりそうだ。

沖縄県の基幹作物であるサトウキビ。搾りかすの一部は製糖工場の燃料などに使われるが、大半は廃棄される。「地域振興のために活用できないか」。東京都文京区でコンサルティング会社を営む山本直人さん(44)は2018年秋、県内の若手経営者らと「SHIMA DENIM」の製造を始めた。搾りかすを乾燥粉砕し、岐阜県美濃市で和紙を作った後、デニム産地の広島県

廃棄の作物

意外な変身



サトウキビの搾りかすを素材にしたデニムズをはいた女性



規格外などのミカンを皮ごと使った調味料

福山市で綿と織り合わせ、沖縄県内の職人らが縫い上げる。見た目は綿100%のデニムとほとんど変わらないが、軽くて吸水性や速乾性に優れているという。愛媛県八幡浜市の農業生産法人「ミヤモトオレンジガーデン」は、摘果や規格外で廃棄していたミカンを加工した調味料「塩みかん」を16年から販売。皮ごとすり潰して塩漬けにし、ドレッシングやゼリー、パスタソースなども商品化した。東京都品川区の食品宅配「オイシックス・ラ・大地」は昨夏から商品売り出した。提携先の農家などが加工の過程で捨てていたプロットリーの茎やダイコンの皮、ナスのヘタを揚げた菓子、輸入したバナナの皮のジャムなどを手がける。これまで15トほどを活用し、3年後には年間約500トの利用を目指すという。同社の担当者は「『意外な部分がおもしろい』という驚きを提供したい」と話す。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(東京都港区)の加山俊也主任研究員は「アップサイクル商品のブランド化は、SDGs(持続可能な開発目標)に向けた企業側の意思が表れ、消費者を巻き込んだ行動変化につながるのではないかと分析している。



(2022年1月18日 読売新聞夕刊より)

【1】アップサイクルによって、どのような商品が作られましたか。書きましょう。

サトウキビ
しぼ
の搾りかす⇨

はいき
廃棄していた
ミカン⇨

【2】アップサイクル商品のブランド化がどのような効果をもたらすか、書きましょう。

はってん
【発展問題】今まで捨てられていたものを使って作った食べ物や商品を、あなたの周りで調べてみましょう。また、今は捨てられているものを使って何か新しいものを作れないか、話し合ってみましょう。



年 組 () 名前

サイン



Dreamy scenery

Red crown cranes, a nationally protected species, walk and flutter their wings in the Setsuri River in Hokkaido's Tsurui village, which recorded a temperature of minus 18.6 C on Thursday.

The difference in the air and water temperatures creates a dreamlike mist over the river. The cranes nest along the river, and they shrilled loudly while searching for prey.

According to the traditional lunisolar calendar, the coldest period of the year started on Jan. 20 this year.

(2022年1月21日 The Japan Newsより)

◆最低気温が氷点下18.6度を観測した北海道鶴居村の雪裡川で、立ちこめる川霧にタンチョウの群れが浮かび上がる幻想的な景色が見られました。

【1】タンチョウは何に指定されていますか。英語で書きましょう。

【2】川霧は何によってもたらされましたか。

【3】タンチョウは甲高い鳴き声を上げながら何をしているのでしょうか。

【4】今年の1月20日は、旧暦では何が始まったとされていますか。

Dreamy: 夢のような、scenery: 景色、Red crown cranes: タンチョウ、a nationally protected species: 国の特別天然記念物、flutter their wings: 羽ばたく、Setsuri River: 雪裡川、Tsurui village: 鶴居村、recorded: 記録した、temperature: 気温、minus: 氷点下、dreamlike mist: 幻想的な霧、nest: 巣を作る、shrilled: 甲高い鳴き声を上げた、searching for~: ~を探している、prey: 獲物、According to~: ~によると、traditional: 伝統的な、lunisolar calendar: 旧暦(太陰太陽暦)、period: 期間

よむYOMUワークシート



オススメ

① 短時間で使える

実施時間は10～15分

よむYOMUワークシートの実施時間は「15分以内」が8割、中学校のみでは「10分以内」が66%を占めました。「授業の『すきま時間』に利用できて重宝した」「教師が記事を探すところから準備するのは難しいので、助かった」「最初からルビや注釈がついているので読みやすい」との評価をいただいています。

これまでに
全国200校、
約2万6000人が
取り組み
ました

オススメ

② 子どもの「読む姿勢」が変化

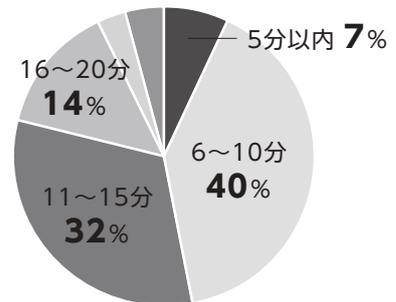
必要な語 見つけられる

教材に取り組む前後に行った意識調査では「文章を読むとき、必要な語を見つけることを意識している」という問いに対する回答が右図のように変化し、読解に必要な力が備わってきていることがわかりました。また、「教材をやってよかった」は88%、「教材は役に立つ」は91%という回答からも、児童生徒に高く評価されていることがわかります。

2021年度 教員アンケートより

◆よむYOMUワークシートの実施時間

[小中計]



オススメ

③ 学習指導要領に沿った内容

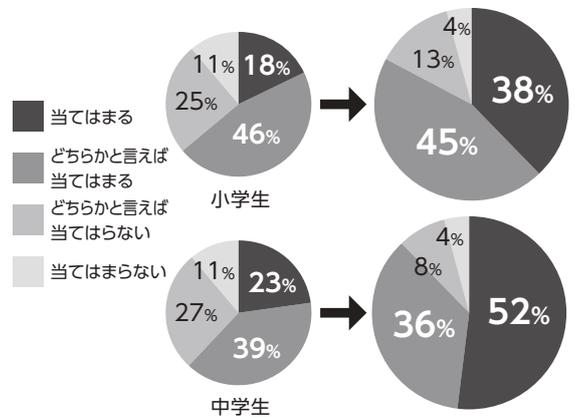
読むこと「精査・解釈」／学びに向かう力 育む

読むことはもちろん、「新学習指導要領」が目指す「学びに向かう力、人間性等の涵養」に役立つ教材であることも示されました。興味を持って取り組んだ児童生徒は、テストの得点が伸びています。

2021年度 児童生徒アンケートより

◆実施後の変化

「文章を読むとき、必要な語を見つけることを意識している」



■ 監修者のことば

富山 哲也 十文字学園女子大教育人文学部児童教育学科教授



新しい学習指導要領が求める「読解力」は、大きく2つに分かれます。

まず、何を述べようとしているのかの大意をつかむとともに、目的に応じて必要な情報を得る力です。そしてもう一つが、「表現の仕方などに着目し、書き手がどのように、どんな意図を持って伝えようとしているのかをとらえる力」です。特にこの二つ目の力が、これからの情報化社会に必要な「力」であり、日本の子供の弱点でもあります。

二つ目の力は、「なぜこの文章は『信頼できる』と判断できるのか」「この文章の論の進め方に説得力がないのは、なぜか」「どういう意見を読み手に伝えようとする意図して編集しているのか」など、常に書き手の狙いを考えながら読み進めることが求められます。多くの情報に触れ、生活していく時に、書き手の狙いを読み解く力がないと、「だまされる側」になりかねません。情報の「善し悪し」を判断するための力とも言えます。

書き手の狙いをとらえる力があればこそ、逆に自分が書く側になった際、自分の意図をうまく表現・編集することができます。ですから「読解力」が向上すれば同時に「書く力」「伝える力」も向上するはずですが。

二つ目の力を重視した問題集はまだ数少ないのが実情です。よむYOMUワークシートはその点に着目していることが強みであり、特徴だと考えます。

◆児童生徒の声

- 物事をさまざまな視点から見られるようになった／視野が広がった
- 自分のことや世の中のいろいろなことを考えるようになった
- 興味がなかったものに興味がもてた
- ニュースなどについて前よりも自分はどうかなど考えるようになった
- ニュースについて家族と話すようになった
- いろいろな事を考える力がついた
- 文章を読むことの大切さに気づいた
- 人に伝える言い方がうまくなった
- 文章の構成を考えるようになった／文をまとめられるようになった
- 文章を読むようになった／読むのが楽しくなった